

第29回 お茶の水女子大学日本語文化学会研究会プログラム

2004年11月20日(土)午後1時30分開会

◎ポスター発表 午後2時~2時45分

多言語共生を目指す日本語教育実習における教師の成長と役割 池田広子、金井淑子、田淵七海子、半原芳子、
テンヂャローン・モンルタイ、松本なつみ(お茶の水女子大学大学院)
米国における日本語イメージ教育—教師のピリーフから 三輪充子(お茶の水女子大学大学院)
日本語学習者の外来語苦手意識と受容態度 堀切友紀子(お茶の水女子大学大学院)
日・台女子大生による初対面会話の対照分析 張瑜珊(お茶の水女子大学大学院)
L2 幼児のテンスアスペクトの習得 橋本ゆかり(お茶の水女子大学大学院)
接続助詞「から」とその習得研究の概観 木山三佳(拓殖大学留学生別科)
海外で働くということ—ブルガリア日本語教育事情 島山理恵(元ブルガリア ソフィア大学客員講師)

◎研究発表 午後3時~5時10分

<第1分科会>

上級日本語クラスにおけるピアレスポンスの試み 廣田周子(文化外国語専門学校)
中級作文におけるピア・レスポンス活動の可能性—推敲プロセスの観点から

原田三千代(お茶の水女子大学大学院)
初級日本語教室のタスク活動における ZPD 内発達と足場作りの変化 洪在賢(筑波大学大学院)

<第2分科会>

地域に根ざした日本語ボランティア養成講座における共生日本語獲得の過程
中河和子(トヤマ・ヤポニカ)、深澤のぞみ(富山大学)、松岡裕見子(トヤマ・ヤポニカ)
外国人支援の実践コミュニティにおける学習環境のデザイン 森下雅子(早稲田大学日本語研究教育センター)
学習者による体験談の協同的『構造』—ホームビジットにおける接触場面の会話から
鈴木伸子(アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター)

<第3分科会>

小学校の日本語教室における児童・教師間の相互作用—内容重視型の日本語学習場面
齋藤ひろみ(東京学芸大学国際教育センター)、菅原雅枝(東京学芸大学大学院修了生)
インタビューに現れた日本語教師の教材作成認識—質的データの共有化に関する一考察
古川嘉子(国際交流基金日本語国際センター)
韓国の日本語教育における文化認識 河先俊子(フェリス女子大学留学生センター)

<第4分科会>

JFL 学習者の複合動詞習得の実態と困難点—アンケート調査報告— 佐野香織(お茶の水女子大学大学院)
日本人学生と留学生による英語ベースのグループワークにおける日本語へのコードスイッチングの機能
田崎敦子(東京農工大学留学生センター)
日本語母語話者の意見の述べ方—ACTFL-OPI の手法によるインタビューの分析
長坂水晶、木田真理、木山登茂子(国際交流基金日本語国際センター)

◆ 第29回日本語文化学会研究会運営協力者(敬称略)

森山新、西條美紀、矢高美智子、魚秀慎、張穎、原みずほ、佐藤真紀、谷内美智子、高橋織恵、杉原由美、
倉田芳弥、房賢嬉、島山理恵、楊虹、堀川有美、高橋薫、陳毓敏、石井怜子、単娜、向山陽子、柳川子、林美琪、
尹喜貞、朱桂榮、王冲、岩田夏穂、小田珠生、李佳盈、IAMPHONGSAI Siripom、白以然、唐沢麻里、郭旻恵、
半原芳子、金井淑子、金珍淑、栗原友美、松本なつみ、朴志仙、佐野香織、島崎美穂、薛倩、田淵七海子、
沈貞美、TENGIARON Monruethai